

第2期 北中城村健康長寿のまちづくり計画

～楽しく健やかな未来をめざして～



女性の平均寿命日本一！ 89.0歳

平成30年 5月

北中城村健康サポートチーム

1. 計画継続の背景

平成25年に2期連続で、女性の平均寿命日本一となったことをきっかけに、平成26年3月に「健康長寿のまちづくり」計画を策定し、20～30年後までを見据えた健康長寿対策に取り組むことで、赤ちゃんからお年寄りまでの総合的な健康づくりを目指すこととしました。

計画の期間は平成26年度から28年度としていました。

平成30年4月に、3期連続で女性の平均寿命日本一となりました。しかし、65歳未満の村民の死亡率は19.7%(平成25年値)と高いことや、その背景としてメタボリックシンドロームや各種疾患の多さが指摘されるなど村民の健康状態に係る課題は多く、数十年後の村民の更なる健康状態の悪化が危惧されている状況が現在も続いています。

よって、前期計画を踏襲して継続していくものとします。

2. 計画の期間

本計画(第2期)の実質期間は、平成30年度から平成34年度の5年間を目途とし平成34年度に計画の見直しを行う予定です。

なお、本計画に終了予定時期の明確な定めはなく、20～30年スパンでの長期的な計画実施を行います。

3. 策定方法

当初計画策定時は、健康長寿にかかる各種データやレセプトデータの整理、村民の意識調査結果の分析等を通して村を取り巻く現状と課題を明らかにした上で、今後の目標を設定しました。

今回は、課題は継続していることから、当初の目標を踏襲しますが、重点ポイントを定め、そのKPIを設定します。

また、当初時は有識者や村内各団体代表委員で構成する「プレ村民会議」での議論を計画策定の参考としました。

今回は、村長より、村役場内においては、「課ごと」の枠にとられず、各課同士が連携しての「全庁体制」での健康づくりに取り組んでいくという方針により設置した「北中城村健康サポートチーム」により策定します。

北中城村健康サポートチームは役場内若手を中心に横断的に網羅、さらに医師、看護師、観光協会、民間企業などと連携した組織で平成28年度に設立されました。

当初計画書の構成は次のように5章から成っていました。

- 第1章 健康長寿に係る各種データ整理
- 第2章 村民の意識等
- 第3章 健康長寿に係る取組事例
- 第4章 課題・特性の整理と取組の方向性
- 第5章 計画の実現に向けて

今回は、第1章から第4章は踏襲して、第5章を見直しています。

4. 本村の良いところ

前報告書第4章(P87)[概要版(P12)]より抜粋一部時点修正をしています。

(1)女性の平均寿命日本一

本村の最大の特徴は、何と言っても三期連続で「女性の平均寿命日本一」であることです。



(2)高い村民の「幸せ度」

村民の幸せ度は、全国平均に比べ高くなっており、高齢になるにつれてその割合も高くなります。長寿であることが幸せ度アップにつながっています。

(3)活発な地域コミュニティの活動

本村は、自治会等の地域単位での活動が活発であり、活発な自治会ほど、地域とのつながりが高いと感じています。

(4)高い運動習慣者の割合

村民の運動習慣の割合は、全国平均に比べ高く、誰もが身近で、取り組みやすい「ウォーキング」となっています。高齢者は老人クラブのサークルでの運動を続けています。



(5)アワセゴルフ場跡地における「未来型地域づくり」

アワセゴルフ場跡地においては、「健康づくり」を包含した新たなまちづくりが進められています。



(6)地域ぐるみの子育て環境

本村は、地域の全ての大人が子どもたちの成長や教育に積極的に関わっていくことを誓う「かかわり宣言」を発表しています。

(7)温暖な田園環境

気候は亜熱帯で、冬でも寒さは厳しくなく、また田園環境が残っており、お年寄りは畑仕事を楽しめる環境です。さらに、アーサなどの地産品を食しやすい環境です。

5. 6つの方針

前報告書第4章(P88)[概要版(P12)]より抜粋

方針1 平均寿命日本一の継続 ～将来にわたり日本一～

方針2 村民の楽しみ・生きがい増加 ～生涯現役・PPK～

※ PPK : ピンピンコロリ

方針3 医療費・福祉関係費の健全化 ～予防と早期発見～

方針4 地域コミュニティの活性化 ～みんなde 健康長寿のまちづくり～

方針5 産業振興・観光振興 ～コラボde 健康長寿のまちづくり～

方針6 村民の所得増、村の税収増 ～健康づくりde 雇用拡大と人口増加～

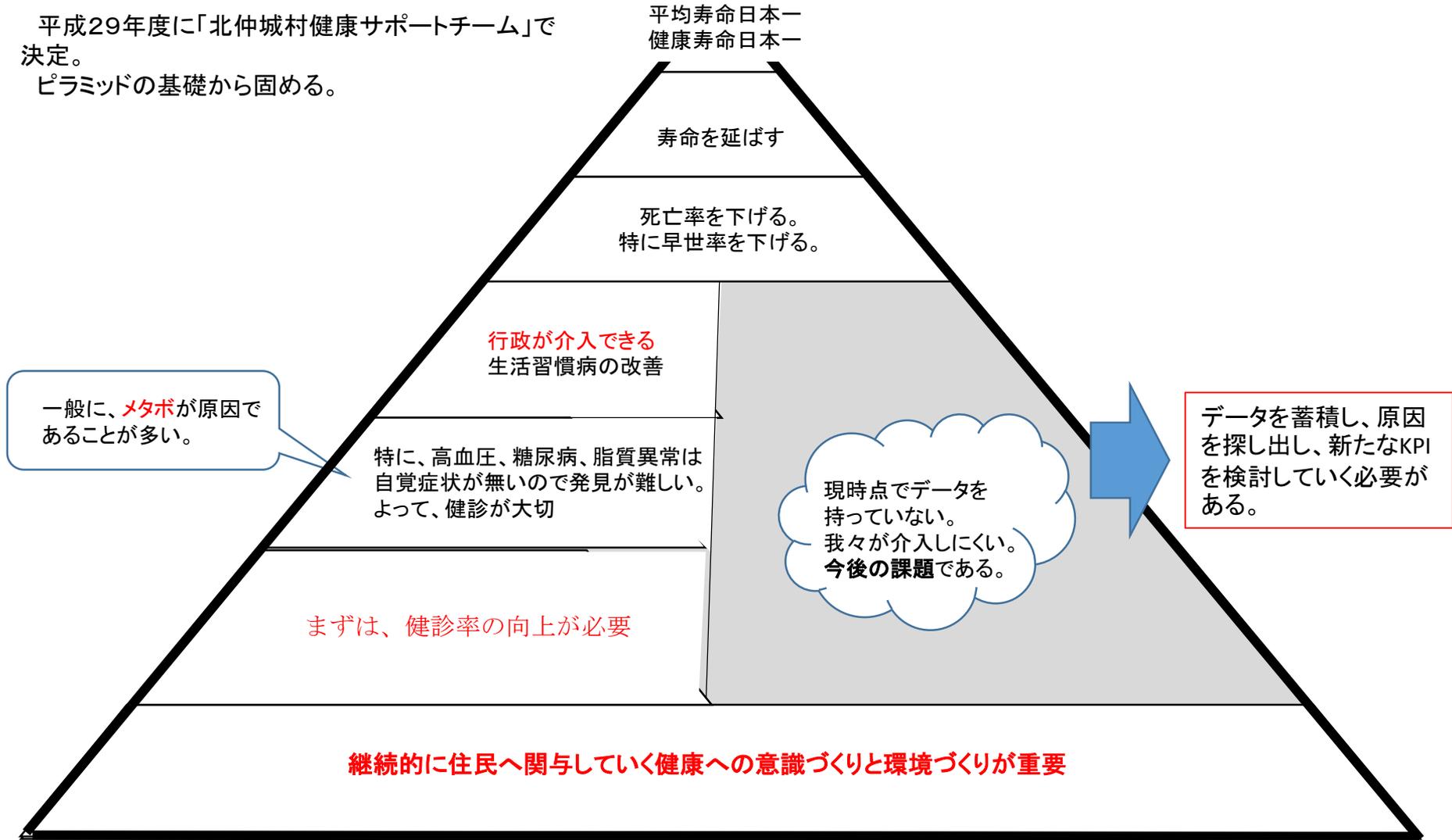
6. 前計画での今後の取組の具体的目標

前報告書第5章(P89)より抜粋し「備考」欄を加筆。[概要版(P12)より方針を抜粋]

6つの方針	今後の取組の目標	備考
方針1 平均寿命日本一の継続 ～将来にわたり日本一～	○女性の平均寿命日本一の継続 ○男性の平均寿命の延伸	<input type="checkbox"/> 3期連続を達成 <input type="checkbox"/> 0.9歳延伸
方針2 村民の楽しみ・生きがい増加 ～生涯現役・PPK～	○幸せ度のさらなる向上 ○メンタル面での健康状態の改善 ○健康づくりに寄与する日常生活での「笑い」の取り入れ ○村民に身近な施設等を活用した取組の展開	
方針3 医療費・福祉関係費の健全化 ～予防と早期発見～	○生活習慣の改善 ○健康受診率の向上 ○医療費の削減 ○運動習慣の継続 ○食育の推進 ○十分な休養の確保 ○食事のバランスに配慮 ○野菜摂取の継続 ○歯科保健対策	<input type="checkbox"/> KPIとして設定 <input type="checkbox"/> H30食育推進計画策定
方針4 地域コミュニティの活性化 ～みんなde 健康長寿のまちづくり～	○地域とのつながりの強化 ○子育てしやすいまちづくりの展開 ○外出機会の創出(特に後期高齢者)	
方針5 産業振興・観光振興 ～コラボde 健康長寿のまちづくり	○行政と各団体との連携による健康づくり関連事業の展開 ○既存活動をベースとした健康づくりの展開 ○行政区を超えた各種活動の展開 ○特産品づくりなどの特色あるまちづくり	<input type="checkbox"/> アワセ区域で基本協定締結済み <input type="checkbox"/> パッションフルーツ商品開発中
方針6 村民の所得増、村の税収増 ～健康づくりde 雇用拡大と人口増加～	○雇用の創出 ○村民所得の増加 ○定住人口の確保 ○団塊の世代の活用	} まち・ひと・しごと創生総合戦略で対応

7. 具体的目標の優先順位の検討

平成29年度に「北仲城村健康サポートチーム」で決定。
ピラミッドの基礎から固める。



8.1 KPIの設定(特定健診受診率)

目標 男女ともに長寿日本一の村を目指す。

現状 (H22値) 男 374位 80.2歳 女 1位 89.0歳
(H27値) 男 81.1歳 女 1位 89.0歳

課題 早世率が高い。 …… 参考資料1
男 23.4% (全国 16.3%)
(H27値) 女 15.9% (全国 12.4%)
(H26値) ベスト1 島根県 8.8%

原因 メタボ
(H28値) 該当者 30.0% (H25値 ベスト1 静岡県 12.7%)
原因はメタボだけでは無いが、行政が介入できるのが、生活習慣病の改善。

対策Step1 特定健診受診率の向上を図り、ベスト1を目指す。 → KPI
(H29速報値) 受診率 43.0% (H27値 ベスト1 宮城県 46.6%) …… 参考資料2
高血圧、糖尿病、脂質異常は自覚症状が無いため、まずは健診率を上げる。

対策Step2 特定保健指導率の向上
(H29見込値) 受診率 45.7% (H27値 ベスト1 徳島県 69.1%)
医療へと繋げる。

対策Step3 指導対象者の行動を変える
健康事業への参加率。これから、行う健康事業は参加者数を測定し基本値を調べる。

8.2 KPIの設定(健康寿命)

将来の目標 男女ともに健康長寿日本一の村を目指す。

現状 (H29値) 男 64.8歳 女 66.8歳
都道府県値
男 沖縄県 64.5歳 国 65.2歳
女 沖縄県 66.5歳 国 66.8歳

当面の目標(KPI)

健康寿命プラス1歳

男 65.8歳 女 67.8歳

…算出値+1とする。

取組1

生活習慣病患者の縮小

取組2

ストレスを抱えている人の縮小

取組3

栄養状態の改善

取組4

就業と社会参加

取組5

運動、スポーツ

注) 取組1～5については、今後、北中城村健康サポートチームにて、調査、議論、検討を進めて決定していくこととする。

9. 健康長寿のまちづくり計画(1期)

		1期計画期間(3年間)				平成29年度
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
計画	期間	きっかけづくり	活動開始	多方面への展開・連携		組織設立
	内容	計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・女性長寿日本一のPR ・講演会、イベント開催 ・村民会議 ・健康づくり連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・所内各課及び村内各団体と連携 ・企業や医療期間、大学との連携 ・サブアリーナの活用 ・アワセゴルフ場跡地利用計画しの連携 ・イベント開催 		
実施	出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・2期連続女性長寿日本一 		<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール沖縄ライカム開業 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部徳洲会病院開院 ・北中城村観光協会設立 	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・プレ村民会議 ・健康づくり連絡会 ・ノルディックウォーキングイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性長寿日本一のPR ・コンビニで健康相談 ・企業へSAT訪問 ・健康マエストロ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康マエストロ ・徳洲会病院講演会 ・トリム体操 ・イオンモール内ウォーキング ・SAT ・城ヨガ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康マエストロ ・タウンウォーク ・城ヨガ ・企業との地域活性化基本協定締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・北中城村健康サポートチーム設立 ・KPI設定 ・村広報誌を活用したPR ・健康マエストロ ・城ヨガ、城太極拳 ・健活フェスタ ・タウンウォーキング ・琉球大学との包括連携協定締結 ・ハートロード整備 ・イオンでトウシビー

10. 第1期健康長寿のまちづくり計画の振り返り

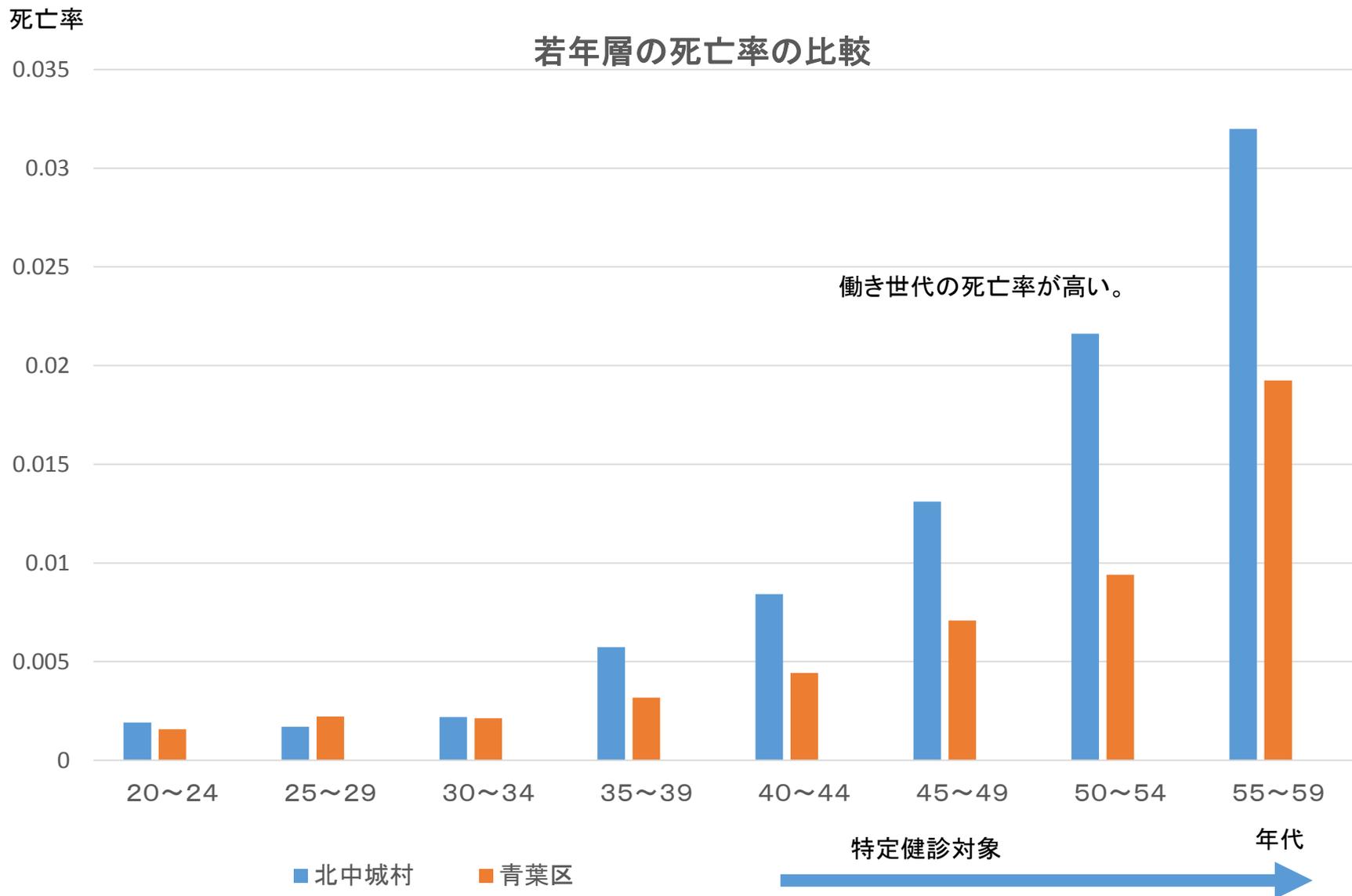
前報告書第5章(P90.91)[概要版(P13.14)]より計画内容を抜粋

年度	計画内容	振り返り
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 女性長寿日本一のPR事業 ② 庁内各課と連携した事業の実施 ③ 講演会、イベントの実施 ④ 村内各団体との調整、事業実施 ⑤ 村民会議、健康づくり連絡会の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① 垂れ幕、のぼり旗、シールを作成。美寿きたなかぐすくによる県知事表敬を行い、メディアの取材を受けた。 ② 連携してノルディックウオーキングを行った。 ③ H27dに、徳洲会病院の院長、副院長による講演会を行った。 ④ 村内企業を訪問してSATを活用した食育を行った。 ⑤ 村民会議3回、健康作づくり連絡会2回行った。
平成27年度以降	<ul style="list-style-type: none"> ① 庁内各課及び村内各団体との更なる連携 ② 企業や医療機関、大学との連携 ③ サブアリーナの活用 ④ アワセゴルフ場跡地利用計画との連携 ⑤ 健康・長寿関係の各事業・イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① H28d庁内及び団体等からなる「北中城村健康サポートチームを設立した。 ② H28d企業や医療機関と地域活性化に関する基本協定を締結した。H29d琉球大学との包括連携協定を締結した。 ③ サブアリーナ(村民体育館)の完成がH30dに遅れた。 ④ イオンモールを活用してのウオーキングを行った。 ⑤ H29dには、各イベントにより950名の参加者を得た。

11. 健康長寿のまちづくり計画(2期)

		2期計画期間 (5年間)				
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
出来事		<ul style="list-style-type: none"> ・3期連続女性長寿日本一 ・村立体育館完成 ・民間スポーツクラブ開業 ・民間とイベント相互協力協定締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック、パラリンピック開催 ・国勢調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・一括交付金終了 	
計画	主体	「北中城村健康サポートチーム」を中心に展開				
	計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・2期計画策定 ・食育推進計画策定 				<ul style="list-style-type: none"> ・3期計画策定
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 健康・長寿関係イベントを継続して、意識の向上を図る。 <input type="checkbox"/> 村広報誌を活用しての健康PRと意識づくり及び特定健診受診の案内。 <input type="checkbox"/> 琉球大学との包括連携協定の活用。 <input type="checkbox"/> ハートロードを活用して歩く機会を増やす。 <input type="checkbox"/> 女性健康長寿日本一のブランドを使っのPRと意識づくり。 <input type="checkbox"/> 新体育館の活用とスポーツクラブとの連携しての健康づくり。 <input type="checkbox"/> 村の各事業を「健康」という観点から「まちづくり」に繋げていく。 <input type="checkbox"/> 次代を担う子ども達への健康教育を行い、かつ親世代への意識づくりに繋げていく。 				

参考資料1 男性平均寿命一位地域(横浜市青葉区)との比較



出典：平成27年 市区町村別生命表より作成

参考資料2 北中城村の特定健診受診率の経過

